



令和3年度
育メン家事メンフォトコンテスト 作品集

ミルクもたくさん飲むよ

小田切咲奈

今年の2月に第二子であります娘が生まれそれに伴い2ヶ月ではありましたがパパは育休を取得してくれておうちの全ての事をやってくれました。その中でも夜中のミルクや足りない分のミルクのお手伝いもしてくれました

講
評

旦那さんがミルクを上手にあげる姿と、お子さんの落ち着いた様子から、出産後2か月の育児休暇中、家事と育児を積極的にされていたことが伺えます。

※日本の男性の民間企業の育児休暇取得率は2018年調査で6.16%。産後の女性は、まとまった睡眠、陽を浴びる、大人と話すということが出来ずにメンタルに支障をきたすケースが増えています。



大好きな絵本

小田切咲奈

この絵本は普通に読むのではなく我流ではありますが薩摩弁で読んでいるんです
(笑) パパが何気に息子に楽しんで貰えればと読み方を変えたら楽しくて嬉しくてそれからこの絵本はパパ担当というくらいパパが読みます

講
評

パパ流の読み聞かせを楽しみのしている子どもの笑顔が素敵な写真です。その後ろで産まれたばかりのお子さんも聞いているんですね



パパとってもきれいだね！！

ひびちゃんママ

“初めてみた一面の赤そばの花。
キレイだね！キレイだね！とパパと仲良く見ていたのが微笑ましかったです！”

講
評

赤そばの美しさを、パパに抱っこされて見た幸せそうな顔が思い浮かぶ後ろ姿です。遠くに行けなくても、パパと一緒に過ごした時間はきっと覚えていると思います。



パパ早くちょうだい！！

ひびちゃんママ

“アイス大好きなほく。
パパがくれるのを大きな口で待ってます！”

講
評

大好きなアイスを大きな口で待つお子さんと、そっと口元に運ぶパパの姿が微笑ましいです。二人の仲の良さが伝わる1枚です。



家族の笑顔大切にしてくれる
縁の下の力持ち

刈井 美紀

妻・娘・息子の笑顔の為なら何でも頑張ってくれる最高のパパ。きぬた農園のイチヨウ並木は娘が小さい頃から、毎年撮り続けている大切な場所。この写真はそんな思いれがある場所で撮った笑顔一杯の1枚です。

講
評

同じ場所で毎年撮るとお子さんの成長もみることが出来ていいですね。これからも毎年家族の恒例イベントとなりそうな素敵な家族写真です



家族の隣には いつもパパがいるよ

刈井 美紀

家族の中心のパパ。仕事をしている時間以外の家事・育児は全てパパがやってくれます。自然と家族の隣にはいつもパパがいます。そんなパパが選んだ最高の場所で、もみじの赤色よりも家族愛の方が更に赤い1枚です。

講
評

仕事時間以外の時間は、家事もすべてやるというパパはすごいですね。どんな家事が得意なのか、ぜひ見てみたいです！

総務省の「社会生活基本調査」では、子育て期にある一日あたりの家事・育児時間は、女性7時間30分に対し、男性は82分。令和2年までに2時間30分にするという国の目標とはまだ大きく離れています。



チャレンジ！

和田明子

長田のアスレチックに挑戦。揺れる丸太は3才さんにはちょっと難しいけど、お父さんにサポートして貰いながらチャレンジ！ドキドキしたけど、落ちずに丸太に乗り移れたよ(´U`)息子の成長を垣間見た瞬間でした。

講
評

お父さんのサポートを信じてチャレンジしたアスレチックでのいい表情です。子どもは日々、驚くほど成長します。これからも一緒に過ごす時間を大切に、お子さんの成長を見守ってください。



お兄ちゃんの読み聞かせ

和田 明子

『絵本読んであげるよ!』と、3歳年下の弟を膝にのせ、お兄ちゃんが読み聞かせをしてくれました。読むのが上手で、弟も思わず本の世界に引き込まれていました。仲のいい兄弟の様子に思わずカメラでパチリ☆

講
評

小さい弟への読み聞かせを上手にする、小さなイクメンさん。将来、自分がパパになったときにも優しく読み聞かせができそうです”



お芋とれたね

宮坂 悠子

家族3人での初めてのじゃがいも掘り。息子は普段から畑に連れていっていますが、この日は泥の中からお芋が出てくるのが特に面白かった様子。父ちゃんがお芋を手渡してあげて満面の笑顔でした。

講
評

普段から土に触れていることもいいですし、ジャガイモを掘り起こして見つめ合った嬉しそうな二人の笑顔がとてもいいですね



お花畑で高い高い！

宮坂 悠子

花や草木が大好きな息子は、一面のピンクの絨毯に大はしゃぎ。そんな息子を父ちゃんが抱き上げて高い高い。とっても楽しそうな2人の様子にシャッターボタンを連打してしまいました。

講
評

子どもの視線では一面に広がるそば畑は見えなくても、父ちゃんの高い腕の中で見た光景は、楽しさと共に心に残ったでしょうね



ミニトマトがとれたよ

ハナカーちゃん

お父さんと一緒に畑仕事をするのが大好き。あたしがとったミニトマトはおいしいかな。今日はお父さんの肩ごしにちょうちょを見つけたよ。

講
評

収穫したトマトを一緒に食べたり、一緒にちょうちょを発見したり、お父さんと一緒に共有できるのは嬉しいでしょうね



未来の家事メン

えのき

お正月のお餅用にくるみのたれを作る木曾の実家。毎年スリスリ係の兄家族がコロナで帰省出来なかったため、未来の家事メンが頑張ってくれました。

講
評

真剣な表情が印象的です。郷土料理もこうして小さい頃から触れていけば、未来の家事メンが文化も繋いでくれそうですね



家事メンは世代をまたぐ

きのこ

雨の日のクッキー作り。見かねたじいもお手伝い。祖父と孫の世代をまたいだクッキーは家族みんなで美味しく食べました！

講
評

おじいさんのそっと見守るような視線の手伝い方は素敵です。きっと美味しいクッキーだったでしょう。



休みの日の朝ごはん

めっち

卵と牛乳でフレンチトーストを作ってくれました。少し焦げちゃったけど美味しくできました。

講
評

三角巾をしてお料理をする姿勢と、教えるお父さんの重ねた手が微笑ましいです。二人の愛情がつまったフレンチトーストは、美味しかったことでしょう。



メリーゴーランド

めっち

コロナで人の大勢いる所へ行くことが出来ませんが上の平広場は思いっきり遊べます。パパさんのメリーゴーランドは大のお気に入りです。

講
評

混雑した観光地へは行けなくても、パパ遊園地はいつも近くにあって楽しそう！力のあるパパだからこそ出来る遊びと過ごし方ですね。



箕ぶら。

さくさや。

箕輪をぶらぶら散歩。木下から松島まで目的もなく2時間近くぶ～らぶら。途中清水の小径でホタルが見れるところを発見！今度の夏にまたぶらぶらしながら見に来よう。歩いたからこそ見つけた名所でした。

講
評

車の通らない散歩道。お父さんと一緒に歩けばお子さんたちも安心ですね。自分の住む地域の良い所を、また発見して教えてください。



絵本サービス。

さくさや。

毎月小学校の親子読書があり、忙しいかあかの代わりにとおとが読み聞かせ。かあかより上手ではない読み聞かせでも一生懸命やってくれています。おかげでゴロゴロタイムも作れます。感謝。

講
評

絵本に集中しているお子さんたちの姿が伝わります。お父さんが読み聞かせると、お子さんたちへの効果は変わるそうです。これからも、どんどん読んであげてください。



寒いけどあったかくて美味しいね

岩崎 祐紀

岡谷でじまん焼き（カスタード1個80円！）を食べている時の写真です。「寒いけど、くっついて食べると美味しいね」と長男。お父さんが大好きな息子たちはお父さんにべったりで、母はちょっと寒かったです。

講評 お父さんとくっついて食べると温かいことをお子さんも気づいていて、心が温まる写真です。



お散歩中に電池切れ

岩崎 祐紀

何をしてもイヤイヤしていた次男を主人が散歩に連れて行ってくれました。なかなか戻って来ず心配で外に出たところ遠くでぐったりした状態の次男が見え、駆け寄ったら・・・電池が切れたようで器用に眠っていました。

講評 お父さんが、子供が眠るほどに、イヤイヤ期の息子さんと根気よく付き合ってくれたのですね。イヤイヤ期を一緒に乗り越えてくれると助かりますね。



四年ぶりの沐浴

入江 順子

里帰りせずに自宅で赤ちゃんを迎えた今回は、沐浴も新生児期から。真剣そのもので不安なお父さんの気持ちを知ってか知らずか、お風呂大好きな我が家のベビーは一度も泣かず、気持ちよさそうでした。

講
評

お父さんの手の平に収まって落ち着いている赤ちゃん、お父さんの真剣な眼差しがとてもいいです。

令和3年育児介護休業法が改正され、令和4年4月1日より、「男性育休」が段階的に施行されます。現段階では、取得することが義務になるのではなく、男女とも育児休業を取りやすくすることが目的で、男性従業員への「個別周知・取得意向確認」「雇用環境整備」「育休取得状況の公表※従業員1000人以上の企業」が義務化されます。



家事も育児もレベルアップ

入江 順子

洗い物をしていると、妹の泣く声と姉の「仕上げ磨き」の声。夫が仕上げ磨きをしてくれるからと泣き声のする方に向かうと、なんと二刀流！第二子出産で2ヶ月の育休を取った夫は以前より器用になったようです。

講
評

一人は大泣きしていても、安心した顔で仕上げ磨きをしてもらうもう一人のお子さんと、微笑んでいるように見えるお父さんの様子は、普段から育児にしっかり関わってくれていることが良く伝わってきます。



赤そばの畑でたか～いたかい！

ともみ

大好きなお父さんとお出かけ。最高のロケーションも相まってニコニコ(#^.^#)が止まらない

講
評

お父さんを見つめて、高い高いを喜ぶお子さんの表情がとてもいいです。安心する人へ向ける笑顔をこれからもたくさん作ってください。



いない・いない・バー-

ともみ

コロナ禍で出掛ける事を控えていた父・子。そーだ、みのわ〜れに行こう。おもちゃがいっぱい。「おとーしゃん、いないいないバー-」と得意気です。

講
評

公共の施設で他人の目があっても恥ずかしがらず、しっかりとお子様と向き合って遊んでいることが、お父さんの表情から伝わってきます。

